

&lt;NEWS RELEASE&gt;

## 高速バスの自動運転・隊列走行の社会実装に向けた考察

WILLER×東京大学の共同研究成果を公表 3月30日よりWEBで公開

移動ソリューションを提供する WILLER 株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:村瀬 茂高、以下 WILLER)と、東京大学モビリティ・イノベーション連携機構 機構長、東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授 須田義大氏、東京大学生産技術研究所 特任助教 林 世彬氏の共著「高速バスの自動運転・隊列走行の社会実装に向けた考察」が、2019年3月1日に東京大学生産技術研究所より発行された「生産研究」に掲載されました。

昨今、高速バスの都市間輸送における大幅な進展がみられるなか、今後バス運転手の確保の課題やより一層の安全性やサービスの向上を考慮すると、現在、産官学で鋭意開発され、実装化が期待される自動運転技術を導入することが有益であると考えられます。本論文では、内閣官房、ITS 戦略室によるロードマップ、制度整備大綱や経済産業省、国土交通省で進められている隊列走行トラックの技術開発状況などを踏まえて、実装化に向けたコンセプトを検討した結果を紹介しています。

WILLER では、今後、利用者、バス事業者、道路事業者、関係官庁、研究開発関係者など、すべての関係者にとってメリットが得られるようなエコシステムの構築を行い、社会受容性を踏まえた社会実装に役立てていきたいと考えています。

### 【書誌概要】

『生産研究』, 2019年71巻2号 p.111-116

発行日:2019年3月1日

発行元:東京大学生産技術研究所

WEB 掲載:<https://doi.org/10.11188/seisankenkyu.71.111> (WEB 掲載日:2019年3月30日)

### 【論文概要】

高速バスの自動運転・隊列走行の社会実装に向けた考察

著者:林 世彬、須田 義大、横溝 英明、小宮 浩資、平山 幸司

### ■WILLER 株式会社 会社概要

【所在地】〒531-6006 大阪府大阪市北区大淀中 1-1-88

【代表者】代表取締役 村瀬茂高

【設立】2005年6月9日

【事業内容】移動マーケティング事業